

2 教育施策

1 市民の要望に対応できる教育行政を行います。

市民との信頼関係を築き、教育行政の活性化を図るために、市民の意見に敏感な教育行政を行います。

また、教育委員会の仕事を、より分かりやすくするように努めます。

- (1) 松戸市教育改革市民懇話会からの提言をもとに教育ビジョンの確立を図り、松戸市生涯学習基本計画を策定します。
- (2) 少子高齢化社会に適合した教育資源再配分のための検討を進めます。
- (3) 開かれた教育行政を目指して、教育委員会ホームページを充実します。また、学校評議員の活用等により地域に開かれた学校を推進します。

2 児童生徒が社会生活において必要とする基礎基本を習得できるようにします。

子どもたちが、社会生活において求められる基礎基本を習得できるようにするため、学校教育の様々な段階において、学力、体力、社会生活のルールを習得できるようにするとともに、豊富な体験学習の機会を設けることに努めます。

また、公民館活動等を通じて家庭の教育力を高めるための支援を行うとともに、家庭と地域の連携強化に努めます。

- (1) 小中学校における情報教育を充実します。
- (2) 中学校のスクールカウンセラーを充実します。
- (3) 市立高校において国際社会及び高度情報社会に貢献できる人材育成を図ります。

3 市民の要望に応じた学習ができるようにします。

誰もが、社会の中でいきいきと自分を活かすことができるようにするため、必要なことを必要なときに学び、その成果を生かすことができるようなシステムを作ることに努めます。

- (1) 生涯学習コーディネーターを配置し、学習相談や情報提供などの学習支援を行います。
- (2) スポーツ指導者派遣事業を充実します。
- (3) 図書館機能を中心とした生涯学習会館構想を検討します。

4 市民が誇りを持てる文化を創造します。

普遍的な価値を後世に伝え、新たな価値を創造することは、文化行政の根幹です。固有の文化の伝承や文化財の保護を図ることにより、市民が松戸市に住むことを誇りに感ずるような文化の創造に努めます。

- (1) 齋藤邸において、竹を利用した竹紙づくりに着手し、独自文化の創造に努めます。
- (2) 東京高等工芸学校ゆかりの作家による美術展を開催します。
- (3) 博物館において、古墳時代の松戸域を埴輪を通して紹介する「はにわの十字路展」を開催します。
- (4) 戸定歴史館において、今年度の特別展として徳川昭武の姪である故藤岡保子氏の「現代かな書展」を開催します。

5 市民の人権意識を高めます。

松戸市は、人権尊重都市宣言を行い、全庁的に取り組んでいます。教育委員会は、人権教育を進め、一人一人の人権が尊重される社会の実現を目指します。

また、人権意識の高揚に伴って生じられる新たな課題に対しても積極的に取り組みます。

- (1) 児童生徒に対する人権教育を推進します。
- (2) 教職員に対する人権研修を行います。
- (3) 社会教育における人権学習の機会を充実します。